

## SOROPTIMIST INTERNATIONAL OF YAMANASHI

## 国際ソロプチミスト山梨

会報

No.2



1977年7月～1978年6月

## 会長二年目を迎えて

会長 田辺千枝子

初代会長の天野よし子様の後、全くその任でない私を会長にお選び頂いてから、あっと云う間に一年が過ぎた様な気が致します。会員の皆様のお支えによって何とか大過なく過す事が出来ましたにも拘らず、又もう一年会長のお役をお引き受けした自分に、些か呆れている心境でございます。

認証二周年を過ぎたばかりの山梨クラブでございますが、他クラブの方々からお褒め頂く数々の活動が出来ましたのは、唯々会員の皆様の御力によるものと感謝致して居ります。特に嬉しかったことは、山梨県民のボランティア活動の寄り処となる山梨県ボランティアセンターの開館式の折、そのともしび基金に100万円と云うまとまった寄附が出来たことでございます。会員一同が、心と手を使って努力して得たお金が、世の中のお役に立つことは、実に素晴らしい事だと思います。

最初は、「ソロプチミスト」って何ですか？と、何か特殊な人の集りとして見られていた様ですが、着々と奉仕活動の実績をあげて参りましたので、この頃は、多くの方々がソロプチミストの意義や、クラブの性質を正しく理解して下さる様になり

ました。そして一つ一つの事業を成し遂げる度に、会員相互の理解と友情が深まって行きますことは、何にも替え難い喜びでございます。互いに許し合い、譲り合い、又助け合って、もし相手を攻める気持になった時、先ず自分を変えて見ることに心がけるならば、理想的な和を持つクラブの運営がなされて行くものと信じます。私は今回もアメリカの連盟大会に出席させて頂き、女性が女性として出来得る限りの可能性に挑戦し、又それに真剣にとり組む姿を見まして、自分自身の生温さを反省せずにはいられませんでした。これからはソロプチミズムの中に、何の躊躇もなく自分を置き、世の中を直視し乍ら一生懸命勉強して行きたいと思ひます。

最後に私自身公私に亘り、会員の皆様には一方ならぬ御世話をおかけするばかりでなく、色々御迷惑をおかけ致しております事を、この紙面を拝借して深くお詫び申し上げます。又、今後ともふつつかな会長に御協力下さいませよう宜敷くお願い申し上げます。

## クラブ活動報告

1977.7月～1978.6月

年月日	会 合	場 所	摘 要	出席人数
1977 7月1日	財団、ヴェンチャー、青少年委員会	新海様宅	本年度計画と予算について検討 昨年度の反省	7名
7月2日	国連IGU委員会	橋田様宅	本年度計画と予算について検討 国連の昨年度の実績説明	8名
7月5日	プログラム、歳入、広報委員会	カバリエ	昨年度の反省 今年度クラブ行事の立案、広報の方法について 検討、各予算	7名
7月7日	財務、セクレタリー会計 予算委員会	エスカルゴ	昨年度決算を参考に今年度一般会計の予算案を 作成	3名
7月11日	規約、拡張教育、職業分 類、出席、合同委員会	吉字屋ビル	規約、クラブ内規案を検討（慶弔規定） 各委員会の今年度計画と予算について検討	8名
7月12日	社会奉仕、公共問題	野口料理学園	各委員会の今年度計画と予算について検討 山梨クラブとしての奉仕目標を検討	7名

国際ソロプチミスト山梨

(2)

年月日	会 合	場 所	摘 要	出席人数
7月13日	第14回評議員会	吉 字 屋 ビ ル	14委員会より提出の今年度計画と予算について 検討	8名
7月18日	第 15 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	本年度各委員会の構成委員発表 各委員会よりの本年度計画と予算請求可決	25名
7月27日	県内福祉施設めぐり	県 民 バ ス に て	県民バス社会福祉施設めぐり 社会福祉村、勤労青少年モニター 石和リハビリクリナース、希望の家	24名
8月1日	バザー第一回実行委員会	野 口 料 理 学 園	日程・場所 出品物、役割について相談	10名
8月8日	県内留学生富士火祭招待 第1回実行委員会	富 士 吉 田 市 民 会 館	吉田の火祭りへ県内留学生招待の件協議 プログラム、その他検討	4名
8月10日	留 学 生 招 待 第2回実行委員会	依 田 喜 栄 様 宅	招待状の件、その他打合せ	3名
8月22日	第 16 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	各委員会報告 規約勉強会	24名
8月22日	県内留学生招待 第3回実行委員会	古 名 屋 ロ ビ ー		6名
8月26日	富 士 吉 田 火 祭 り	富 士 吉 田 市 市 民 会 館	第二回富士吉田火祭り招待 県内留学生研修生 10名	来賓20名 会員13名
9月9日	第15回評議員会	古 名 屋 ホ テ ル	新会員候補審議	8名
9月17日	第2回関東地区大会	ホ テ ル ニ ュ ー オ ー タ ニ	関東地区大会参加	26名
9月18日	第 17 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	関東地区大会出席報告 留学生火祭り招待報告、バザーについて協議	23名
9月30日	第16回評議員会	甲 運 亭	認証式二周年記念準備打合せ 10月・11月例会プログラムについて検討 新会員候補詮衡	8名
10月3日	第二回バザー実行委員会	野 口 料 理 学 園	出品の整理、値段つけ	13名
10月8日	バ ザ ー	野 口 料 理 学 園	第2回チャリティーバザー開催	
10月14日	チャリティーディナー第1 回実行委員会		チャリティーディナー音楽面のプログラム、その 他検討	3名
10月16日	社会福祉村まつり		社会福祉村祭参加、バザー出品物寄附	5名
10月17日	第 18 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	関東地区理事、セクレタリーの公式訪問 社会福祉村祭、手伝い報告 バザー報告、チャリティーディナーについて協議	30名
10月18日	第17回評議員会	橋 田 様 宅	バザー反省会	8名
10月21日	チャリティーディナー第2 回実行委員会		全体プログラム検討、その他	8名
10月23日	東京東C. シグマソサイ ティ ー 認 証 式	日 本 赤 十 字 本 社 大 会 議 室	東京東C. シグマソサイエティ ー 認証式出席	1名
10月24日	横浜クラブ認証式	ニ ュ ー グ ラ ン ド ホ テ ル	横浜認証式に出席	8名
11月8日	第18回評議員会	橋 田 様 宅	バザー収益金について、リジョンに50,000円寄 附、訓練費について、二周年記念講演について 子供音楽会について、チャリティーディナーに ついて検討	7名

(3)

## 国際ソロプチミスト山梨

年月日	会合	場所	摘要	出席人数
11月11日	会計、セクレタリー会議	橋田様宅	クラブ財政点検 会報発送作業	4名
11月19日	チャリティディナー実行委員会		プログラムに基き役割を分担	11名
11月21日	第19回例会	古名屋ホテル	各委員会報告 ①訓練賞について ②横浜認証式出席報告 ③東京東C・シグマソサイティ ー認証式報告 ④国連委員会婦人部設立の件	30名
11月26日	チャリティーディナー'77	古名屋ホテル	田辺県知事講演「欧米福祉施設について」 チャリティーディナー収益金 30万円年末共同 募金に寄附	205名
11月28日	チャリティディナー実行委員会	古名屋ホテル	切符精算反省、支払いその他	4名
11月29日	青少年委員会	湯田高校	高校生の奉仕活動とソロプチミスト山梨との結 びつきについて学校側との懇談	4名
12月2日			湯田高校訪問 生徒会役員20名と話し合い ・ボランティアの話 ・ソロプチミスト山梨の説明	9名
12月6日	第19回評議員会	橋田様宅	チャリティーディナー収支報告、反省 湯田高校Sクラブ設立時期についての協議 子供音楽会開催提案 公開討論会の件協議	7名
12月19日	第20回例会	古名屋ホテル	指名委員会設立 パーティー決算報告 各常任委員会前期活動報告	27名
12月20日	第20回評議員会	吉字屋ビル	理事4名に増員の件について臨時総会開催を各 会員に郵送通知する	6名
12月20日	指名委員会	吉字屋ビル	次期評議員推薦状各会員に発送	3名
1978 1月19日	第21回評議委員会	柳葉	次期役員改選について協議 新入会員5名詮衡 二周年記念講演者検討	6名
1月23日	臨時総会	古名屋ホテル	次期役員改選について (理事4名と可決)	29名
	第21回例会	古名屋ホテル	I GU委員会 シスタークラブについて 各委員会報告 新年親睦会	29名
1月25日	新入学児童に黄色い帽子を贈る会	山梨会館	県下44団体、450万円募金	1名
1月30日	会計・セクレタリー会議	古名屋ホテル	仙台年次大会について 黄色い帽子を贈る会 } 二団体へ寄附 ネパール医療品援助 }	3名

年月日	会 合	場 所	摘 要	出席人数
2月10日	子供音楽会 実行委員会	古 名 屋 ホ テ ル	日時内容検討	11名
2月13日	県ボランティア総会	県民会館小ホール	講演「喜びをわかち合う生き方」阿部志郎先生	13名
2月14日	関東地区 会長・セクレ タリー会議	ホテルニューオータニ	リジョン評議委員会内容説明他	2名
2月15日	第 22 回 評 議 員 会	古 名 屋 ホ テ ル	関東地区、会長・セクレタリー会議、報告 子供音楽会について討議	6名
2月20日	第 22 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	各委員会報告 勉強会「正しい家庭薬の使い方」	27名
2月23日	ボランティア教育活動研 究会	県民会館小ホール	テーマ「思いやりとうるおいを求めて」	2名
3月 3日	福祉基金懇話会	岡島ローヤル会館	福祉基金の構想運営について	1名
3月17日	第 23 回 評 議 員 会	古 名 屋 ホ テ ル	新会員認証式内容検討 仙台年次大会について打合せ 社会問題フォーラム、子供音楽会等について	6名
3月20日	第 23 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	集会出席報告 Charity Diner '78 11/25と決定	24名
3月21日	手 話 ま つ り	県立女子短大	お手伝い	2名
4月 4日	新 会 員 説 明 会	今 井 様 宅	入会認証会説明会	8名
4月 8日	子供音楽会 実行委員会 第 24 回 評 議 員 会	社 教 セ ン タ ー 橋 田 様 宅	役割その他討議 認証二周年記念例会について最終打合せ	3名 5名
4月16日	テーブルマナー講習	レストラン 山水	視覚障害者青年部テーブル、マナー指導	2名
4月17日	第 24 回 例 会	富士ビューホテル	新会員4名の認証式 認証二周年記念例会、祝宴 講演 小林 茂 氏 「日本人と国際人」	26名
4月22日 23日	年 次 大 会	仙 台 市 民 会 館	日本リジョン年次大会に参加 全体会議、分科会	18名
5月 2日	第 25 回 評 議 員 会 子供音楽会 実行委員会	橋 田 様 宅 古 名 屋 ホ テ ル	二周年例会の反省他 内容の再検討他	8名 11名
5月14日	「たのしい子供のつどい」	社 教 セ ン タ ー	子供音楽会開催	28名
5月22日	第 25 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	子供音楽会について報告 社会問題フォーラム、バザー チャリティー、パーティー等開催について検討 国連委員会より報告 仙台年次大会分科会出席報告	24名
5月26日	認 証 式	大 仁 ホ テ ル	三島認証式	4名
6月 2日	公開討論会 実行委員会	橋 田 様 宅	プログラム内容パネラー検討	10名
6月 9日	ボランティア活動推進連 絡会議	福 祉 会 館	ボランティアセンター開館後の活動について	2名
6月10日	公 開 討 論 会	県民会館大会議室	「現代生活と宗教」	136名
6月14日	第 26 回 評 議 員 会	吉 字 屋 ビ ル	来年度プログラム検討 公開討論会反省他	8名
6月19日	第 26 回 例 会	古 名 屋 ホ テ ル	各委員会報告、その他	30名

年月日	会 合	場 所	摘 要	出席人員
6月19日	第 2 回 総 会	吉 名 屋 ホ テ ル	下半期常任委員会報告 カルガリー年次大会出席について	30名
6月22日	山梨県福祉基金設立総会	舞 鶴 会 館	財団法人「山梨ともしび基金」と決定	1名
6月26日	国 連 婦 人 セ ミ ナ ー	発 明 会 館	講演会「国際ニュースの読み方」	3名
6月27日 7月 4日	アメリカ連盟隔年大会	カナダ カルガリー コンベンションセンタ ー	アメリカ連盟隔年大会参加	2名

## カルガリーアメリカ連盟隔年大会 早川 えみ

それは去年名古屋年次大会の折でした。会場のロビーを通りかかった時、丁度キッシンジャーアメリカ連盟会長と、レビタン事務長が休んで居られ、他にどなたもいらっしやらない様子でしたので、私達山梨勢は良きチャンスとばかり御一緒に写真を撮らせて頂きました。そして暫くお話をして居ります間に、私の名前からアメリカ上院議員をして居る早川の妹と解りますと、会長はすぐに私の住所をお聞きになり、兄を来年カルガリー連盟大会のゲストスピーカーにお願いしたい、と仰言いました。あまり突然の事ですし、又実現出来そうにないお話しと思い暫く雑談の後お別れして、そのままその事は忘れておりました。

ところが、今年一月突然キッシンジャー会長からのお手紙で、六月末カルガリーでの連盟大会の折、基調講演に兄をお願いしたいので是非紹介して頂き度い、とのお知らせを頂きました。それは丁度兄が2年振りに来日する直前の事でしたので、早速キッシンジャー会長のお手紙を見せましたところ、六月の予定はびっしりつまって居り、到底カナダまで出掛けられるとは思わないが、一応自分のスケジュール担当の者迄直接手紙で問い合わせしてほしい、との事でした。

それからアメリカ連盟と、兄のスタッフとの間で何度か手紙の行き来があったと思います。こちらには暫く何の便りもないので、多分兄は、都合が付かずお断りした事と思い、カルガリー行きは田辺会長にお任せすることにして私はほっとして居りました。

その内四月になって、レビタンさんからのお手紙が届き、兄より「もし妹がカルガリー大会に出席するのなら自分も都合をつけて伺う。」とのお返事を頂いたので大至急兄の都合を知らせる様にと、仰言って来られました。これでは私が出席しないと、キッシンジャー会長の折角のプランを壊す事になると思い、急いで諸事情都合をつけ大会出席の届けを出しました。そして旅行の心づもりをして居りますと、今度はキッシンジャー会長からのお手紙で、7月3日兄の紹介を妹の私が英語と日本語の両方でやって頂きたい、との知らせです。これでは一難去って又一難、もうどうにかなるだろうと、これもO・Kのお手紙を差し上げました。

然しその後でだんだん考えてみますと、大会出席の英語人種千人以上の前に立って一体どんな事をどんな英語で語せば良いのか、あまりつまらぬ事では自分の恥ならず日本リジョンの恥にもなるし、これはほとんど事を引き受けてしまったと思ひ悩んだ末、ワシントンの姉に「原稿を書いて欲しい」と頼んでみましたが、姉は「自分には一言も浮ばない」と出発の3日前に断わりの手紙が着きました。切羽つまって仕方なく、荷作りをしながら

自分の英語で原稿を書きましたが、さっぱり自信がありません。

そのままカルガリーへ出発し、大会が始まり、愈々兄のスピーチの時になって、会場のスピーカーで私の名前が呼ばれました。大勢の人の間を縫って会場正面、舞台の横に参りました時、そこで初めて今着いたばかりの兄と顔を合わせました。挨拶ももどかしく私の持っていた原稿にさっと眼を通して貰い、1ヶ所だけ誤りを指摘して貰うのに30秒もかかったでしょうか。そのまま二人共壇上に登りました。

私の英語と日本語の紹介は、涙の出る程感激しましたと、田辺会長は身量貢で仰言つて下さいましたが、兎に角無事に済ませて大勢の方々の握手と写真攻めに会い、席に戻りました。

その夜は延々と会議が12時迄続いたのですが、田辺会長がクラブデリゲートを代って下さり、私は60年も昔に私達一家が住んでいたカルガリーの、又その当時私達と一緒に住んで居られた方、山梨クラブの依田喜栄様のご親戚の方が働いて居られた昔のままのホテルのラウンジで、兄と昔話しをしながらその夜を過しました。私にとっては50年ぶりの生まれ故郷のカナダでした。

私事をクドクドと書き連ねましたのは、縁あってこのソロプチミストに出合ってから、この様にかつて無かった数々の経験を得る事が出来たからです。三年前、暗中模索の中で始められたクラブ認証式の準備、始めてのバザー、パーティー、公開討論会、どれを取っても全く白紙の状態から、大勢で力を合わせて計画、討議を繰り返えし、あらゆる可能な出来事を想定してそれに対応するための準備をしました。丁度ヒマラヤ登山の何ヶ月も前から様に綿密な計画を立てます。その途中には苦しい事も、又行きづまって眠れない夜もありましたが、どんな場合も只クラブの目的のみを第一義とするならば、無事大きな山に登り、又下山して、ほっとした充実感を味わう事が出来ました。

大事なクラブ行事の日の朝だけは、何時も神様にお祈りをするのに、普段は全く教会へ行かない私の様な勝手なクリスチャンを何時か英国の宣教師が「神様をハンドバッグと間違えて居るのではありませんか？必要な時にだけ持ち出すのでしょうか」と仰言った事が有ります。

然しこのように自分に全く自信のない事も、全力を尽せばその結果を自然に受け入れる気持になる事を学びました。そして一つの山に登る毎に、実に数多くの人生勉強、が何物にも代え難い貴重な私の財産として、着実に増えつつあります。これからも未だ高い山々が幾つか行く手に聳え立っているのですが、その一つ一つをソロプチミストとしての自覚を持って登って行くつもりであります。

## めぐ 山梨県社会福祉施設廻り

足立 四津子

昭和52年7月27日「県民バス」により「希望の家」(成人身障者施設)「石和リハビリクリナース」(身障者による洗濯工場) 勤労青少年センター、社会福祉村の諸施設を見学しました。

それぞれに精神面、物質面の問題点が散見されましたが、特にリハビリクリナースと勤労青少年センターの対比を卒直にし、その相関々係を考えさせられました。

「洗濯屋はどこでも熱いですよ」と経営陣の一人は断言されましたが、大型スチームアイロンから吹き出す熱気と窓から入りこむ酷暑の暖気、労働による体温の上昇の三つの相乗作用による暑さはひとよぎの見学者たる私共健康常者をも圧倒しました。

ここで長時間働く人々にせめて夏期だけ少しでも快適に、の配慮がなされないものだろうか？ 又整理と簡略化をはかり工場内の機器と人とのスペースを広く清潔にして、万一の災害を未全に防いで欲しいと痛感しました。

それにひきかえ勤労青少年センタは若人のエネルギーを充

分に発散し得る、プール・グラウンド・体育館・各種学習室・憩いのコーナー・など平和と潑刺、豊かさと活力溢れる青年の理想的躍動の場と申しましょうか。

この隣り合わせにみた施設と人々の明、暗の青春の上の一つの太陽が輝く現実を直視して次の提言を思うに至りました。

青年たちの培われたエネルギーの一部をボランティアに向けられないものか？

この豊かさを享受する人々にこそ、屋上から一片の鉄が落下することにより、柔道の投げの力加減により、帰りの輪禍により、他人ごとではなくなる人生のあることを、ボランティアを通して予告し理解を求めなければなりません。

一方クリナースで働く人々もセンターの施設を積極的に活用し遅くなって欲しいと希ってやみません。

障害者も健康常者も相互によりよく影響し合って生きることの大切さをしみじみと考えた一日でした。

昭和52年7月27日

## さわやかだったこどもの集い、 桐原ふじ子

第一回「楽しいこどもの集い」が5月14日、甲府市社会教育センター大ホールで開かれました。これは、音楽を通じて情操豊かなこどもになって欲しい、という趣旨のもとに国際ソロプチミスト山梨が主催したものです。当日は天候に恵まれ、会場は元気で明るいこどもとその家族で満員。こども達の表情は始めから終りまで生き生きと楽しそうでした。田辺会長の挨拶、橋田会員の司会で進められましたプログラムのオープニングは、富士トランペット鼓隊、客席からステージに上る行進演奏から始まりましたが、ものすごいばかりのボリュームと確かな音程、きれいな可愛いユニフォーム。すばらしいリズム感と洗練されたステージマナー。これに加えてパトنگールの見事な

演技に会場は完全に富士トランペット鼓隊のトリコになったようでした。

演奏曲目も「ふじ山」を色々な形にアレンジしたものや、思わずリズムをとり、ハミングしたくなるような軽快な曲などで、20分という演奏時間もあつという間に経過してしまいました。

次いで、バレーの基礎教育が良く決まっている足立四津子バレー研究所の生徒と私の門下生の合同で、懐かしい童謡三曲と、バレー名曲集より四曲が発表されました。踊る方も歌う方も真剣そのもの、そのすがすがしい純粋さに会場から暖かい拍手が送られていました。

プログラムの最後は私の歌唱指導と歌を聞いて戴くコーナー。指導曲の「手のひらを太陽に」は、一度聴唱指導したのみで、二回目は通して歌え、その後何曲かの私の独唱曲も殆んどが全員合唱の形で進みました。頬を紅潮させ、口を大きくあけて歌ってくれる可愛い姿を楽しくステージから眺め

たのしい子供のつどい

1978年5・14



ました。

フィナーレのステージには出演者、国際ソロプチミスト山梨の会員、そして会場から元気のよい子どもが大勢上って来て広いステージが一杯になりました。そして富士トランペット鼓隊の皆さんと、ピアノを弾いて下さった古谷宏先生と合同伴奏で「手のひらを太陽に」を高らかに歌い、演奏して名残りを惜しみながら幕を閉じました。

本当にさわやかな集りで、私も普通のステージでは味わえない一服の清涼剤、そんな感じを受けました。

子どもには子どもなりの歌があり、それを歌いこむことによ

って色々な情感を知り、またリズムの重要性を理解し始めるのではないかと考えますと、やはり今回の「楽しいこどもの集い」は成功したのではないかと思います。

1959年の国連総会で「児童の権利に関する宣言」が採択されて来年が20周年に当ることから、世界的に児童の福祉に力を入れようという運動が展開されます。

私達国際ソロプチミスト山梨でも、来年度の年間行事の中にまた「こどものための音楽会」が組まれています。今年より又一層楽しい企画となりますよう期待しつつ、「楽しいこどもの集い」反省の記を終らせて載けます。

## 公開討論会

1978年6.10

“現代生活と宗教”

講師 山梨県教育委員長

高野 孫左衛門 先生

神戸修道院 神父

木 俣 茂 世 先生

山梨大学 教授

石 原 静 雄 先生

塩山放光寺 住職

清 雲 俊 元 先生



## 悪夢から甦って

野口美代子

故郷を江州に持つ私達一家は、年に一度、家族揃って墓参がてら帰郷することが慣わしになっておりました。毎年その日が近づいて来ると私達は、誰彼となく故郷の懐しさを口にし、何とはなしに落着かなくなるのでした。昨年の帰郷の日も、そうして私達一家に近づいたのです。

昭和52年8月8日、それは私達一家にとって忘れ難い運命の日でした。待ち焦れていたその日の朝、甲府盆地はどんより曇ったまゝ明けたのですが、その日の為に誂らえておいたワンピースを着た私は、母を伴い少女のような足どりで家を出ました。例年なら身延線、新幹線と電車を乗りついでの旅でありましたのに、その日は同じ江州出身の店の者が車で帰郷すると云うので、何のためらいもなく、それに便乗させてもらうことが決っていました。土産の品や身の廻りの物など、「まるで小さな引越しね。」と冗談が出る程沢山の荷物を、夫や店員の手を借りて車に運び込んだ後、ペットの犬を伴って私達は乗り込みました。「気をつけてな、」と云う夫の言葉もさして心にとめることなく、窓越しに手を振りながら、何時の間にか小雨の降り始めた甲府を後にしました。

国道二十号線を信州に向けて走る車窓には、何時もなら夏雲

をバックに絶景であるはずの八ツ岳もアルプスの峰々もすっかり雨雲にかくれて、視界にはこぬか雨に濡れる農家の軒々が、次々に飛び込んで来るだけでした。

やがて私達は膝の上に来て戯れはじめたペットのロンちゃんの相手に夢中で、県境の峠を越えたことも知らず、気がつくところには長野の富士見にさしかゝっておりました。

それは車の見通しがよい広々とした道路を軽快に走りはじめた時のことでした。運転する店の者が何か短く声をあげたのを聞いたような気がして、反射的に前方に目を向けた時、一台の乗用車が私達の車に向かって真正面から突進して来るではありませんか。私は一瞬今ここに起きようとしている驚異的な事実が一体何であるのか、何を引き起そうとしているのか判断出来ない程、度を失っていたのを覚えています。けれども次の瞬間前方から疾走して来た車が、まるでスローモーションの映画でも観るように、空間をゆらゆら浮き沈みながら、私達に覆いかぶさるように飛び込んで来たとき、「何故…何故なの、」と絶叫していたような気がします。

「ビーポービーポー」、と云う救急車のかすかな音を、深い夢の底から聞く思いで、自覚したのはそれからどの位の時間が

っていたのでしょうか。そうして警笛という悲劇的な音を聞いたことによってかろうじて意識をとり戻したものの、私は自分の身の上に突然ふりかゝって来た災害の恐しさも、生命の危機感すら考える間もなく再び深い昏睡の中に陥ち込んでしまいました。ですから数時間かゝったと云う手術のことも、知らせでかけつけて下さった人達のことも何一つ知らずに生死の境をさまよっていたのです。

此の様に、私達におそいかゝった運命の嵐に母は、頭部打撲、脳挫傷 私は、頭部挫傷、右足関節部打撲、運転手は、肺破裂により全員入院を余儀なくされたのです。不幸中の幸いだったことは、かつぎ込まれた病院が脳外科の専門である横井病院であったことです。しかし意識をとりもどし全治三ヶ月を知った私共には、知らぬ他県での入院生活はぞっとするような思いでした。その私達に生きる力を与えて下さったのは、噂で

かけつけて下さったお見舞の数多くの方々の暖かいお気持と励ましのお言葉でした。不幸にあつてはじめて身にしむ人の情とはこの事でしょう。中でも私の平素から親しくして頂いているソロプチミストの方々再度重なるお見舞いこそ、忘れ得ぬ事であり、心からのお友達を持つ嬉しさをしみじみと感じました。

長い入院中、一時はもうソロプチミストは退会しなければならぬのではないか、と傷の痛みと共に考えておりましたのに、療養の後始めて例会に出席しました時の喜びは、生涯忘れることが出来ません。涙を流して手を握り合った感激は今もありありと甦ってまいります。顔面には事故の傷跡がまだ残る私でございますが、五体満足で他の人々の為に働ける幸せを一人のソロプチミストとして、しみじみと感ずる此の頃でございます。

## 寄 附 明 細

(1977年7月～1978年6月)

1977年 7月	山梨県社会福祉施設	¥ 20,000
10月	社会福祉村祭バザー	日用品 30点
10月	ハンディキャップ全国普及運動	¥ 10,000
10月	日本リジョン財団	¥ 50,000
10月	日本リジョンより有珠山災害	¥ 500,000
11月	重症心身障害児を守る会バザー	日用品 35点
	アメリカジョーンズタウン水害見舞	¥ 2,500
	山梨県社会福祉事業	¥ 100,000
	NHK才末助け合い運動	¥ 100,000
	山梨日日新聞文化厚生事業団	¥ 100,000
	ユニセフカード販売	
12月	韮崎日之城寮(少年厚生施設)	¥ 50,000
1978年 2月	黄色い帽子を児童へ贈る会	¥ 50,000
2月	ネパール医療援助	¥ 50,000
3月	アメリカ連盟財団	¥ 32,000
4月	インド洋モルティブ諸島援助	¥ 54,600
4月	山梨県社会福祉“ともしび基金”	¥ 1,000,000
6月	韮崎日之城寮(少年更生施設)	¥ 50,000
6月	国連難民救済	¥ 36,000



退 会 者      1977年12月      竹居 文江      横内のりみ      渡辺 千春

入 会 者      1978年 4月      風間 雅子      大沢 百代      笹本 積      佐藤 博子

(1978年7月よりのクラブ評議員)

会 長	田 辺 千枝子	セクレタリー	上 原 桂 子
副 会 長	早 川 え み	会 計	橘 田 礼 子
”	高 野 照 子	理 事	天 野 よし子
セクレタリー	小宮山 房 子	”	萩 原 秋 子
		”	今 井 温 子
		”	飯 田 節 子

ソロプチミスト誓約

私達はソロプチミストとして、ソロプチミズムに忠誠を誓い

真摯なる友情  
偉業達成の喜び  
奉仕の尊さ  
誠実な職業  
国土愛

等を強調するその理想に従います。

私達は最善をつくしてこれらの理想を促進し、支持し擁護し、家庭、社会、実業界に於て、より大きな友情を築き、国家のため、神のために努力致します。